月次報告書 作成基準日 2022年10月31日

コモンズ３０ファンド　コモンズレター

追加型投信 / 内外 / 株式

渋澤と伊井の想い

【グリーン社会を目指すイノベーターの要件】

こんにちは。渋澤健です。10月下旬にコモンズ30ファンドが投資先として長年お付き合いいただいている日立製作所が開催した「Hitachi SOCIAL INNOVATION FORUM 2022」で登壇させていただきました。社会課題に向き合って豊かな未来を創るという環境、社会、ビジネスにおけるイノベーターへの想いを込めた大型フォーラムであり、「持続可能な未来に向けた企業経営 ～Climate Change Innovatorとしての貢献～」というセッションで、執行役常務 Chief Sustainability Officer 兼 Chief Diversity & Inclusion Officerのロレーナ・デッラジョヴァンナさんと（英語で）対談いたしました。ロレーナさんは、同社のグリーン戦略の最高責任者です。私は特にグリーンのイノベーターとは言えませんが、とても有意義、かつ楽しい対談になりました。
世界が気候変動の深刻化に直面していることは言うまでもなく、国・社会・企業において持続可能な未来の実現が共通かつ最大の課題になります。

そのような時代環境において、コモンズ30ファンドが求めている世代を超える持続的な成長への期待に応えてくれる企業の経営には、脱炭素化をはじめとしたサステナビリティ戦略は欠かせません。

日本を代表するグローバル企業である日立製作所は、IOT技術によるCO2排出量算出や情報開示、パワーグリッド（送配電網）技術による高圧直流送電による再エネ電力の融通、鉄道システム技術によるエネルギー削減、原子力技術による次世代型原子炉（SMR等）の開発促進などグリーン事業ポートフォリオ事業を用いてグリーン社会の実現を目標とするコミットメントを示しています。

ロレーナさんの対談で、私は、同社が用いている技術の可能性を最大に活かすカギは「人」という人的資本であり、組織内のサイロ（壁）を超える経営トップ層のパッションが、従業員、そして、顧客や投資家へのコミットメントを示すことになるのでは、とお話ししました。日立グループ叩き上げのロレーナさんはイタリア人ですが大きく頷いていらっしゃいました。そういう意味で、日立製作所のような典型的な「ザ・ジャパニーズ・カンパニー」の経営層および様々な組織レイヤーに外国人や女性が入るというダイバーシティ経営へと転じたこの10年ほどの展開は画期的であり、グリーン社会を目指すイノベーターとしては不可欠な要件と言えるでしょう。

取締役会長 渋澤 健

コモンズ30ファンド

モーニングスターFUND OF THE YEAR2021
（ファンドオブザイヤー2021）

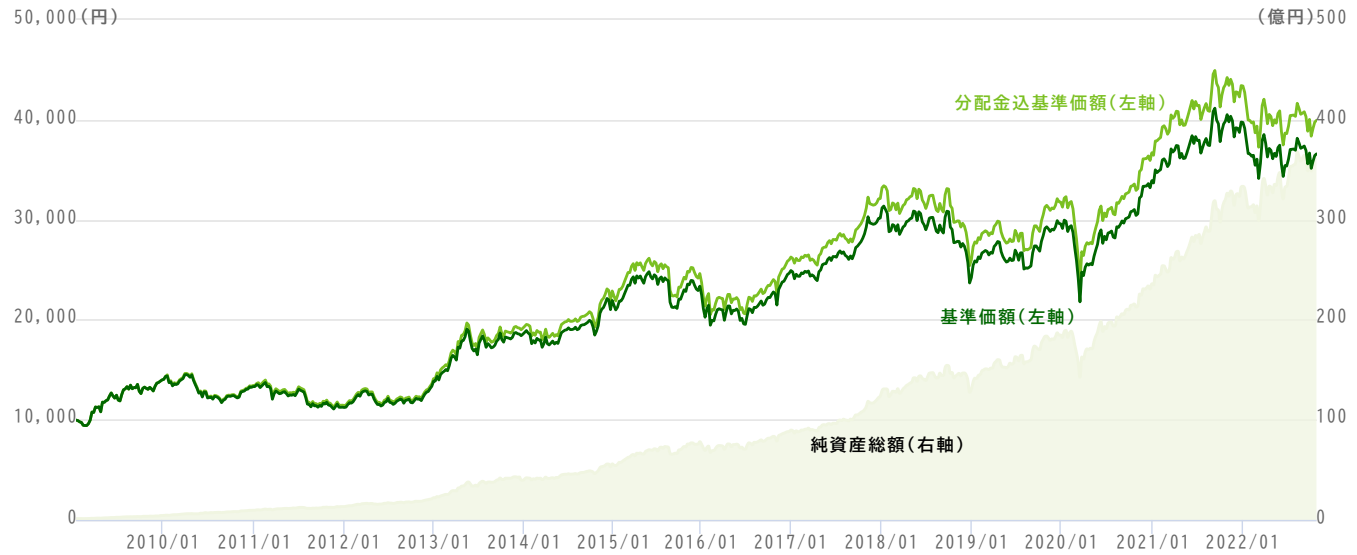
国内株式型 部門　優秀ファンド賞受賞！

コモンズ30ファンド

格付投資情報センター「R&I ファンド大賞 2022」

投資信託10年／国内株式コア カテゴリー　優秀ファンド賞受賞！

基準価額の推移
2009年1月19日 ～ 2022年10月31日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.078%（消費税込）です。

運用実績
2009年1月19日 ～ 2022年10月31日

基準価額
36,588 円
（前月末比）
+1,317 円（3.73%）

純資産総額
364.8億円
（前月末比）
+18.5億円（5.35%）

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	3.73%
3ヵ月	△1.33%
6ヵ月	△1.66%
1年	△7.67%
3年	28.27%
5年	29.47%
10年	226.32%
設定来	299.41%

分配金（1万口当たり、税引前）

決算期	分配金
2018年1月	250円
2019年1月	0円
2020年1月	250円
2021年1月	300円
2022年1月	0円
設定来合計	1,910円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配落後です。
※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	95.0%
その他	5.0%

未来コンセプト別比率

生活ソリューション	14.8%
精密テクノロジー	14.2%
ウェルネス	13.2%
新素材	10.8%
資源・エネルギー	10.2%
快適空間	9.5%
ライフサイクル	6.4%
地球開発	6.4%
未来移動体	6.3%
社会インフラ	3.2%
その他	5.0%

組入上位10銘柄

	銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	4.4%
2	三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	3.9%
3	丸紅	資源・エネルギー	規律ある経営で収益を積み重ね、いつか総合商社ナンバースリーに	3.9%
4	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.8%
5	セブン＆アイ・HD	生活ソリューション	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透、さらなる高みを目指す	3.8%
6	カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.7%
7	ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.7%
8	味の素	ウェルネス	「食・健康・いのち」の“ＵＭＡＭＩ”で世界の食品トップ10を狙う	3.6%
9	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.6%
10	デンソー	未来移動体	自動車市場拡大の恩恵を受ける	3.5%

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。
※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
※その他とは現金等を指します。
◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

運用状況

◎運用レビュー
10月のファンドの月間リターンは+3.73％の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ

10月の内外株式市場は、米国金融政策に対する思惑（利上げペースの減速）から月末にかけて欧米先進国で大きく上昇しました。特にNYダウの月間上昇率は14％となり、上昇率では46年ぶりとなりました。また、英国では大規模減税案を巡り市場が混乱したことなどから減税案の撤回、新内閣が成立されました。一方で、中国共産党大会では、習近平体制が強化されたことなどから海外投資家の懸念が高まり中国、香港、台湾市場は大幅下落となりました。
国内株式市場も、米国株の上昇に連動して反発しました。外為市場では、ドル円で151円台まで急上昇したことから、6.3兆円と月間ベースでは過去最高の円買い介入が行われました。

当ファンドは、月間で+3.73％の上昇、投資先30銘柄中23銘柄が値上がり、6銘柄が値下がり、1銘柄が変わらずとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+5.10％の上昇、日経平均株価も+6.36％の上昇となりました。

当ファンドの株式の組入比率は、95.0％と前月比+3.7％の上昇となりました。9月末、日経平均株価が26,000円を割り込んだ局面から、下落局面では買い増し姿勢を強めています。個別銘柄の月間騰落率ではエーザイ+15.81％、デンソー+12.21％、ディスコ+11.56％が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、ユニ・チャーム▲4.59％、セブン＆アイHD▲4.34％、マキタ▲2.82％となりました。当月は、上場来高値を更新した銘柄はなく、年初来高値を更新した銘柄は味の素、エーザイの2銘柄（銘柄コード順）でした。

株式市場は、引き続き、米国金融政策のスタンスと世界的な景気減速を注視しています。また、米国ではアルファベット、マイクロソフト、アマゾン、メタ（旧フェイブック）が決算内容から大きく下落し、今後の株式市場の主役交代の兆しも出てきています。当ファンドは、引き続き、守りの運用姿勢ではありますが、中長期的な押し目買いスタンスを堅持しています。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◆2022年10月次運用報告動画もぜひご覧ください！

https://youtu.be/NIE4ZkcGLS0

2022年10月次運用報告動画

投資委員会メンバー
〇伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/〇は最高運用責任者

※組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。

新規組入投資先

なし

今月のピック！

■（6902）デンソー

デンソーの23年3月期上期の営業利益は1,554億円、前年同期比2％減となりました。四半期ベースでみると、第2四半期（7-9月）営業利益は918億円、前年同期比76％増と、第1四半期（4-6月）の636億円（同41％減）と比べ回復の勢い増してきています。仕向け先は、トヨタグループとそれ以外の自動車メーカーがほぼ50％ずつですが、全般的な自動車の生産回復の恩恵や、原材料費上昇分の価格転嫁が順調に進展してきていることなどが、第2四半期からの利益の押し上げに貢献しています。

会社側は、23年3月期通期の営業利益計画について、4,800億円、前期比41％増の従来計画を維持しました。為替の前提は134.5円/ドルです。なお、同社を取り巻くサプライチェーン混乱の影響は収まりつつあり、特に、電子部品などの部材不足のマイナス影響は薄れてきているようです。

シニア・アナリスト　上野 武昭

■（6501）日立製作所

日立製作所は10月28日に2023年3月期第2四半期決算を発表しました。

半導体不足や部材高騰など業績へのマイナス要因が継続する中で、世界的にデジタル化の需要が拡大していることや、カーボンニュートラル実現に向けた環境関連投資が増大していること、また、為替の円安方向への変動などの追い風を受けて、第2四半期実績は計画を上回る増収増益となりました。合わせて通期の業績見通しを上方修正しています。親会社株主に帰属する当期利益は過去最高の6,000億円を計画しています。下期以降についても上期と同様の事業環境は継続する見通しですが、それに加えて世界的なインフレ抑制のための金利上昇施策による景気後退懸念が台頭していることなどから、景気動向を見極めつつ、慎重に経営のカジを取っていくと気を引き締めていました。

シニア・アナリスト　末山 仁

■（3407）旭化成

旭化成の工藤社長と面談する機会をいただきました。4月に社長に就任されて以降、海外を含めた工場を積極的に訪問し、生産の現場と経営のダイレクトなコミュニケーションを心がけられており、中期経営計画の策定についても国内は30~40代を中心に、海外拠点の人材にも当社の歴史や文化を知ってもらいながら参画してもらったそうです。

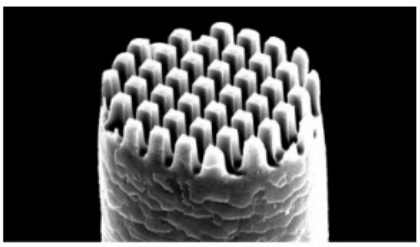
これまで当社は事業ポートフォリオを時代に合わせて柔軟に変化させる経営により、大きな危機も無く成長してきましたが、その裏返しとして、これまでの延長線上で良いという意識が広がっていることに対して強い危機感を感じていらっしゃるようで、新しい道を切り拓く変革に挑戦する心構えを表現する「A-Spirit」（「A」は、アニマルスピリットと社名のイニシャル）というキーワードを掲げ、野心的で進取の気風のある企業への転換を目指す強い意志が感じられました。知財戦略やデジタルの活用、社外との連携強化なども取り入れた事業ポートフォリオ進化に期待しています。

シニア・アナリスト/ESGリーダー　原嶋 亮介

コモンズの視点～企業のミカタ～

毎月、コモンズ投信で運用しているファンドの企業を「コモンズの視点」でご紹介するオンラインセミナーを行っています。
10月はコモンズ30ファンドで投資しているディスコをご説明しました。ディスコは一般消費財を扱う企業ではないため、一般の消費者がディスコの製品に直接触れたり、ディスコという社名を聞く機会も少ないと思います。実際、私も調べるまで詳しくありませんでした。
ディスコは「Kiru・Kezuru・Migaku」を行っている会社です。
「Kiru・Kezuru・Migaku」とは何かというと、半導体ウェーハを「細かく切り分ける」こと、「薄く削る」こと、「鏡のように磨く」ことを表します。
実際、ディスコはこの「Kiru・Kezuru・Migaku」に特化としたとてもユニークな企業です。
ちなみに、ローマ字で表記している理由ですが、ディスコの技術が世界標準となり、日本語でそのまま通用するようなレベルを目指すという、強い思いが込められているから。ここにもディスコの強いこだわりが見られます。

ディスコの「Kiru」「Kezuru」「Migaku」（出所）ディスコHPより


髪の毛の断面を35分割できるほど小さく

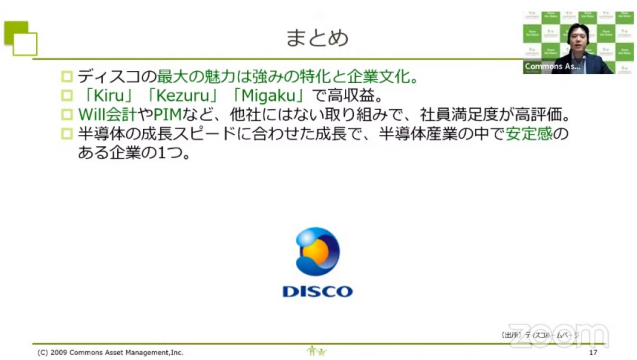
手が透けるほど薄く

鏡のようにきれいに

また、ディスコは企業文化もとてもユニークです。
その中でも、管理会計を従業員一人ひとりに適用する「Will会計」（Willとはディスコの社内通貨制度）や、業務改善活動である「PIM（Performance Innovation Management）」は、ディスコの企業文化を体現する素晴らしい制度で、セミナーではこれらを紹介しました。
「Will会計」では、仕事をオークションで提示し、仕事の対価としてWillを支払ったり、「PIM」では、「PIMコロシアム」という専用スペースで、限られた時間・資料を駆使して発表し合うことで、アイデア力やプレゼン力を磨くことが出来たりします。ちなみに、勝敗はWillの投票によって決まります。

このようなユニークな企業文化が従業員満足度を高めることも紹介しました。
最後には、コモンズが期待していることをお伝えしました。日本の半導体産業は衰退したのではないか？と思われる方も多いと思います。しかし、日本においても半導体や電子部品の製造装置や材料メーカーは多く存在しています。しかもシェアが世界的にも高い企業が多いのも特徴です。

半導体を使う用途や人口は今後も拡大が期待できます。景気が一時的には落ち込むこともあるでしょう。でも長期的には今後も世界の成長は続くと考えられ、今後も半導体需要は拡大が続く蓋然性はとても高いといえます。
そうした中で、半導体を製品にするのに欠かせないディスコの「Kiru・Kezuru・Migaku」技術は今後も成長が続いていく。コモンズはこのようなことを期待しているとお伝えしました。



コモンズ投信は、企業を評価する際には、他のファンドとは異なる独自の視点を持っています。。それを皆様にお伝えし、より深くコモンズ投信を知ってもらいたいと考えています。いただいたアンケートにも、ディスコについて「今回のかみくだいた内容でやっと理解できました」や「コモンズ流の企業価値評価のレシピに当てはめての解説は、投資先企業の行っていることが明確に納得できる」との声を頂いています。今後もコモンズの視点による「企業のミカタ」にご期待ください。

マーケティング部 齋藤 亮

コモンズSEEDCapからのお知らせ

【第14回コモンズSEEDCap最終候補者の3名のうち1名が決定！】

◇コモンズSEEDCapに関して詳しくはこちら
→　http://www.commons30.jp/fund30/seed

第14回コモンズ社会起業家フォーラム（10月2日開催）から、参加者のみなさんからの声を参考に1名の最終候補者が選ばれました。
NPO法人青少年自立援助センター・定住外国人支援事業部　田中 宝紀（いき）さんです。
https://note.com/ikitanaka/
フォーラムでの田中さんの7分スピーチはこちらから→
https://youtu.be/crz76eeivZQ

以下は参加者からの推薦の声の一部です。

「人数も重く国家がやるべき重い重い課題に取り組まれているからです。」
「子どもの未来を創っているから。」
「今回のプレゼンでもっとも知らないテーマでした。ショックでもありましたが、良い循環を作っていけると感じました。」
「高齢化社会が進めば、明らかに労働人口が減り、外国からの移民によってその労働力を補うという現象が進み、外国ルーツの子供たちがさらに急増するはずなので、田中さんの取り組みは重要だと思うため。また、こうした海外ルーツの義務教育の枠外に置かれる子供たちに対して社会システムを整備しておかないと、分断社会の悪循環や貧富の差が拡大し、社会全体が不安定になるため、こうした社会課題はより広く周知され、対策が取られるべきだと思います。」

他2名の候補者は、過去のフォーラム登壇者の中からコモンズ投信社員が選定させていただき、来春には発表させていただきます。
そして3名の最終候補者の中からら1名をお仲間のみなさんと共に選ばせていただきます。
ぜひ引き続きみなさま、ご注目ください。

ソーシャル・エンゲージメント・リーダー 馬越 裕子

お客さまからの声

セミナーにご参加いただいたお客さまからいただいたお声をご紹介します。

資産づくり質問会

現在の不安定な世界情勢の中でも、このまま安心してファンドを運用できることがわかりました。（50代・女性）

コモンズ投信運用報告会～2022年7－9月期～

具体的な投資先企業の紹介やマーメット全体の動きと投資信託の成績などわかりやすい内容だった。（50代・男性）
KADOKAWAの件でコモンズの考え方を聞けてよかったです（50代・男性）

コモンズの視点～企業のミカタ～「ディスコ」のご紹介

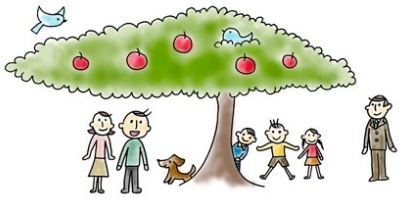
解り易く、丁寧な解説で大変良かった。コモンズ流の企業価値評価のレシピに当てはめての解説は投資先企業の行っていることが明確に納得できる。（50代・男性）

乗馬経験ゼロから世界の舞台を目指したい ～パラ馬術を知るコモンズPOINTオンラインイベント～

気持ちを代弁してくださる進行とパラ乗馬への情熱のトークで楽しめました（60代・女性）

お知らせ

Pick Up！セミナー



最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧下さい。

https://www.commons30.jp/seminar/

◆2022年10月次運用報告動画もぜひご覧ください！

https://youtu.be/NIE4ZkcGLS0

□<会場＆オンライン>
コモンズ30塾統合レポートワークショップ
投資先企業「味の素」をお迎えして
ASVレポートを読み解く

11月29日（火）19:00～21:00

□<オンライン>
ザ・2020ビジョン投資先企業の魅力を知る
～ゼロからわかるデクセリアルズ～

12月６日（火）19：00～20：30

□資産づくり質問会

11月14日（月）20:00～21:00

□コモンズのファンドの特徴は？

11月16日（水）20:00～20:30

□教育資金づくりのポイント

11月18日（金）10:30～11:00

□こどもトラストセミナー　おかねの教室（小学生対象）
「おかねの４つの使い方～使ったお金はどこにいく？～」

11月27日（日）10:00～10:45

□コモンズの視点　～企業のミカタ～
丸紅のご紹介

11月25日（金）20:00～20:30

☆アーカイブ動画をYouTube「COMMONSTV」にて配信しております。
ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします！☆

※Morningstar Award“Fund of the Year 2021”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar,Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2021年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国内株式型 部門は、2021年12月末において当該部門に属するファンド897本の中から選考されました。
※「Ｒ＆Ｉファンド大賞」は、Ｒ＆Ｉが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきＲ＆Ｉが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第２９９条第１項第２８号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はＲ＆Ｉに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第578号	○	○		○
PWM日本証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第50号	○			○
楽天証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
株式会社SBI証券※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○
株式会社秋田銀行※1	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第43号	○	○		
株式会社栃木銀行※1	登録金融機関	関東財務局長（登金）第57号	○			
株式会社横浜銀行※1	登録金融機関	関東財務局長（登金）第36号	○	○		
株式会社イオン銀行※1	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社北海道銀行※1	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第1号	○	○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
株式会社静岡銀行※1	登録金融機関	東海財務局長（登金）第5号	○	○		
静銀ﾃｨｰｴﾑ証券株式会社※2	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第10号	○			
株式会社福岡銀行※2	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○	○		
株式会社熊本銀行※2	登録金融機関	九州財務支局長（登金）第6号	○			
株式会社十八親和銀行※2	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第3号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務支局長（登金）第10号	○	○		
松井証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○		
野村證券株式会社※2	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱

販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
浜銀TT証券株式会社※2	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○			
FFG証券株式会社※2	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第5号	○			○
株式会社京葉銀行※2	登録金融機関	関東財務局長（登金）第56号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第7号	○	○		
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第3号	○			
tsumiki証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
auカブコム証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
PayPay銀行株式会社※1	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第6号	○	○		
株式会社七十七銀行※2	登録金融機関	東北財務局長（登金）第5号	○	○		
株式会社伊予銀行※2	登録金融機関	四国財務局長（登金）第2号	○	○		
四国アライアンス証券株式会社※2	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第21号	○			
京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務支局長（登金）第52号	○			
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金)第1号	○	○		
LINE証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3144号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第41号	○			
ＳＭＢＣ日興証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社大垣共立銀行※2	登録金融機関	東海財務局長（登金）第3号	○	○		
OKB証券株式会社※1	金融商品取引業者	東海財務局長（金商)第191号	○			
株式会社新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)※1	登録金融機関	関東財務局長（登金） 第10号	○	○		

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱

販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3283号	○		○	
東海東京証券株式会社※1	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○		○
スルガ銀行株式会社※1	登録金融機関	東海財務局長（登金）第8号	○			

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱

コモンズ30ファンドのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。
お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。
なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

コモンズ30ファンドの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	（コモンズ投信の場合）ありません。 （委託会社の指定した販売会社の場合）販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年税込1.078%（税抜0.98 %）を上限とした率を乗じて得た額とします。 信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

お申込みメモ

その他

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2009年1月19日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。 よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日

ご注意事項

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。

◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093　東京都千代田区平河町2-4-5平河町Kビル5階

・金融商品取引業者
・関東財務局長（金商）第2061号
・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）
03-3221-8730
■ウェブサイト
https://www.commons30.jp/